

2-2 まぼりひがし公園

2-2-1 位置

まぼりひがし公園の計画地は、朝霞市の北西部にあり、「日常的・広域的なレクリエーションの場の不足」する地域に位置している。

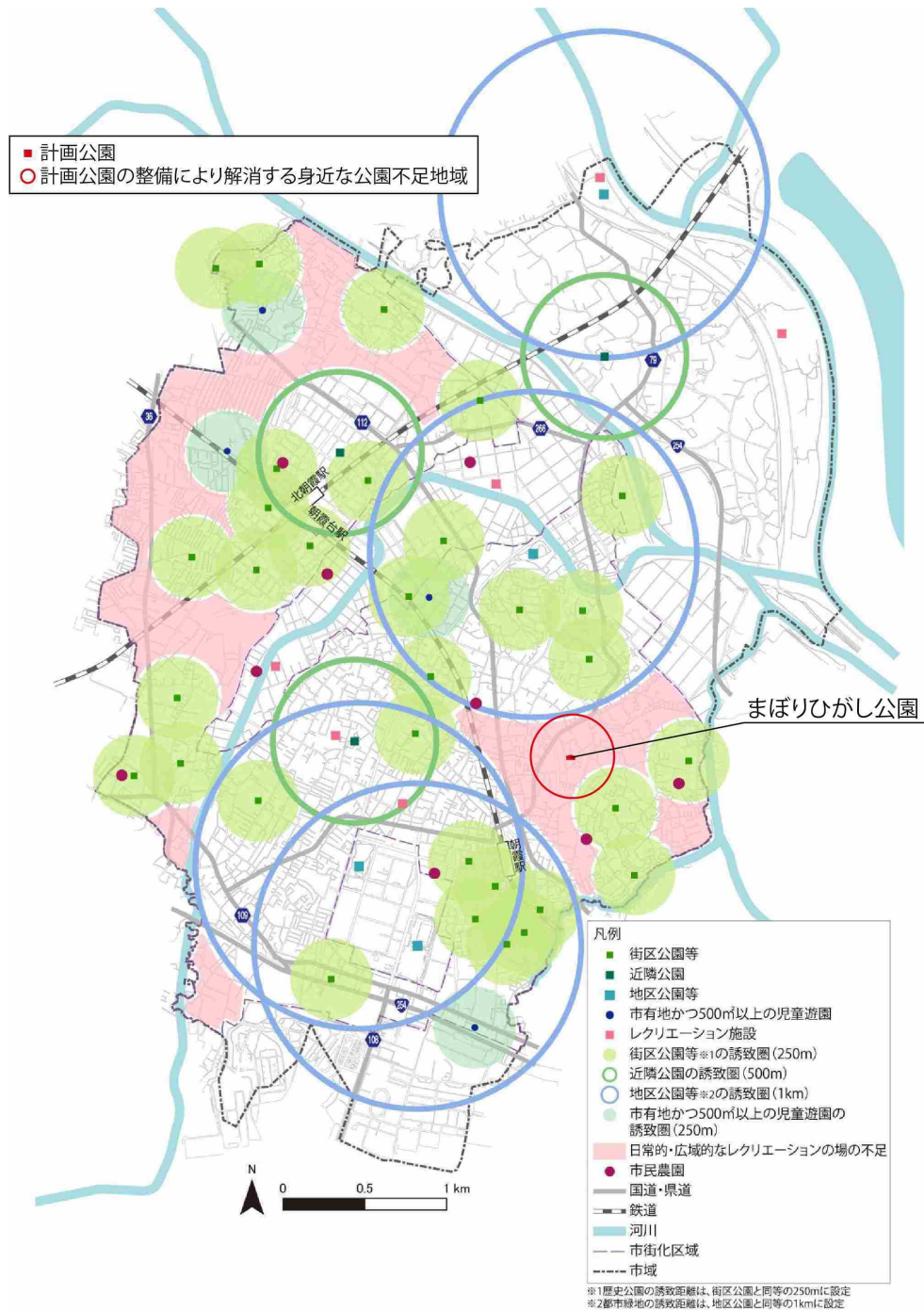


図12 まぼりひがし公園の位置図

※朝霞市緑の基本計画P31図2-18レクリエーション機能の図にまぼりひがし公園を加筆

2-2-2 立地条件

まぼりひがし公園の立地条件の概要は下表の通りである。

表 1-2 立地条件の概要

所在地	朝霞市根岸台5丁目23番1
地 形	段丘面
周辺用途地域	第一種住居地域
ハザードマップ	浸水実績なし・浸水想定なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園が隣接する ・ 中央にケヤキの大木がある ・ 当該地域は、宅地化によるみどりの減少により環境保全機能や防災機能が後退し、レクリエーション機能が不足していると考えられる



図 1-13 まぼりひがし公園周辺の地形

※国土地理院基盤地図情報、国交省国土数値情報より作成

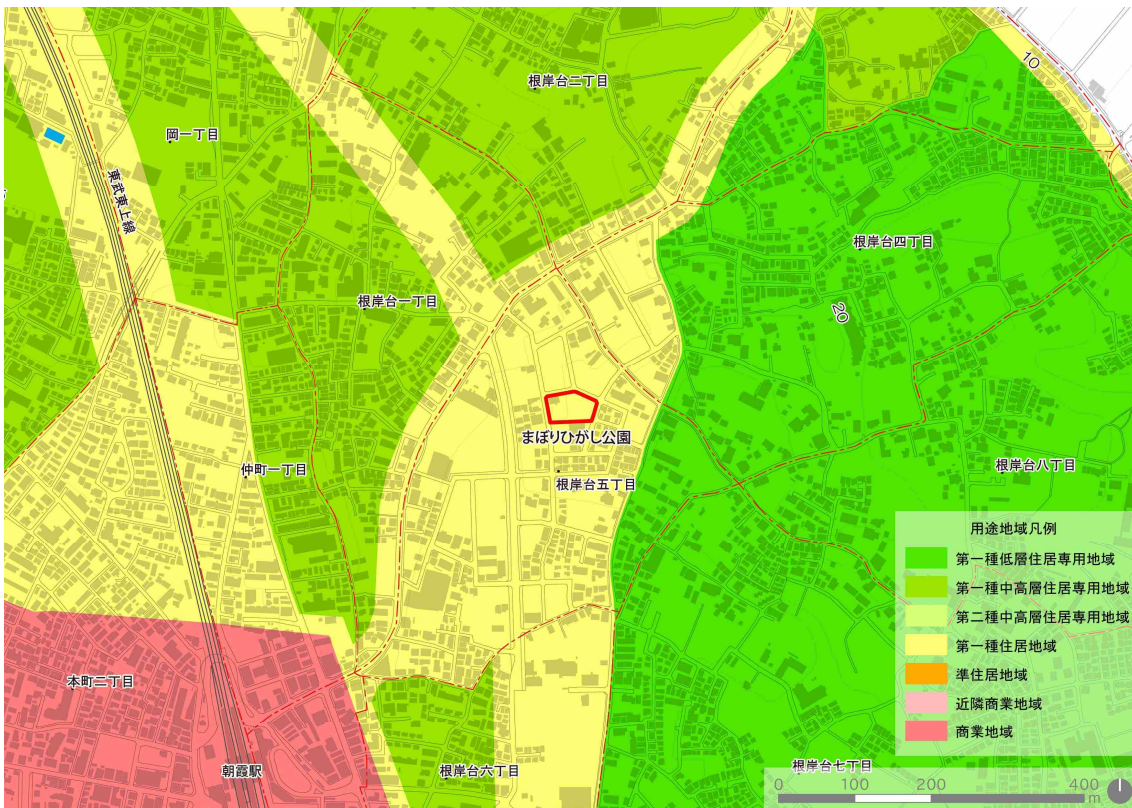


図14 まぼりひがし公園周辺の用途地域

※国土地理院基盤地図情報、国交省国土数値情報より作成

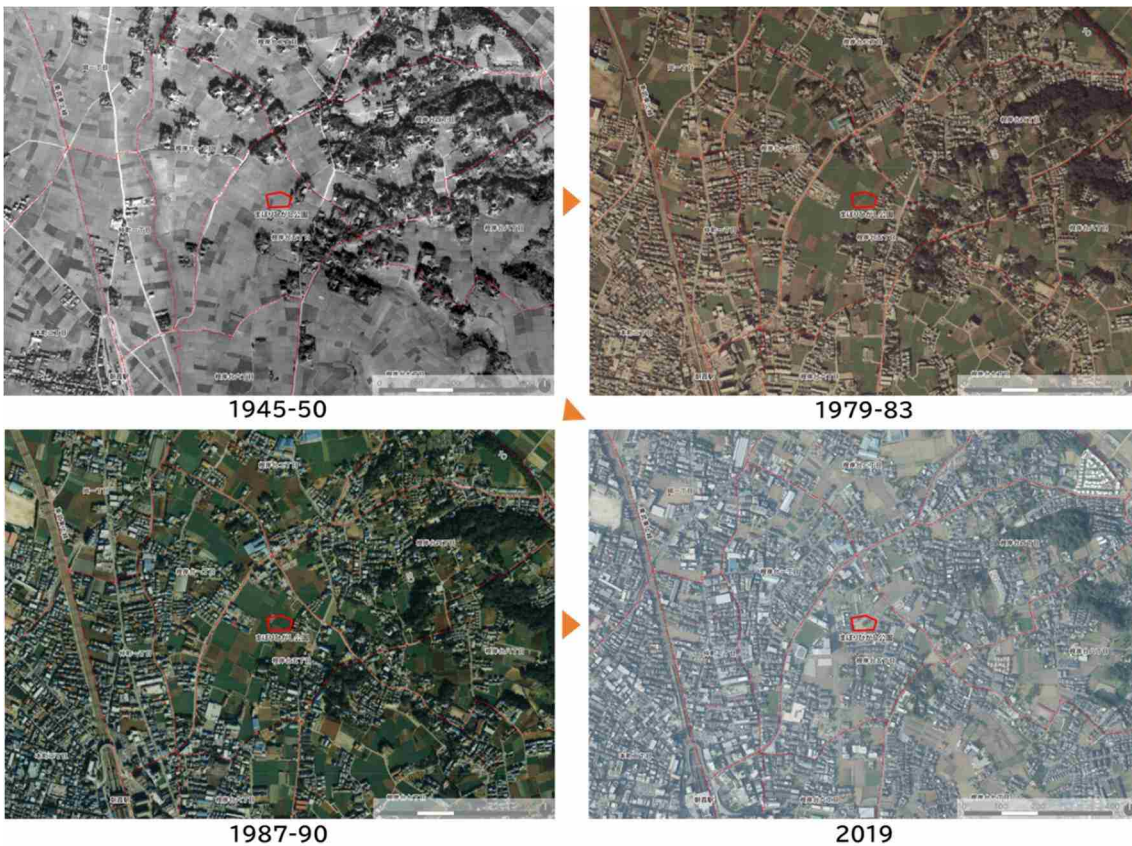


図15 まぼりひがし公園周辺の環境変遷

※国土地理院電子国土より作成

2-2-3 基本構想の検討

1) 方針・整備テーマ

まぼりひがし公園の整備においては、新設計画公園の基本的な考え方を踏まえるとともに、「不足するレクリエーションの場の解消を図り、子どもからお年寄りまで誰もが利用できる公園」や「保育園児の集団利用」、「地域の水循環機能の維持」、「ケヤキのシンボル・ツリーの継承」に配慮することが求められる。まぼりひがし公園における立地特性に即したテーマを以下の通り設定する。

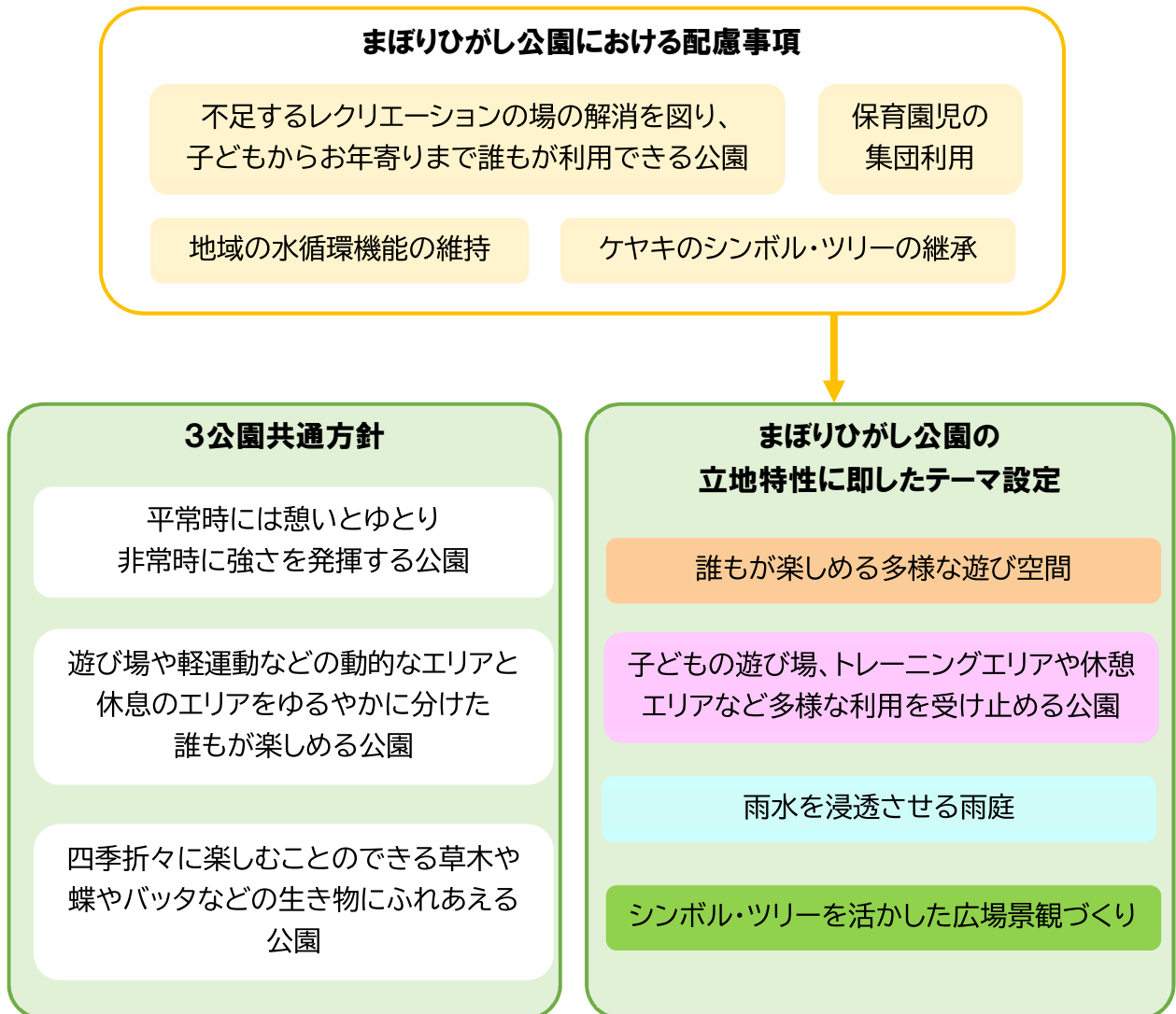


図16 まぼりひがし公園の整備テーマ

2) ゾーニング図

まぼりひがし公園における整備テーマを展開するゾーンを、以下のゾーニング図に示す。

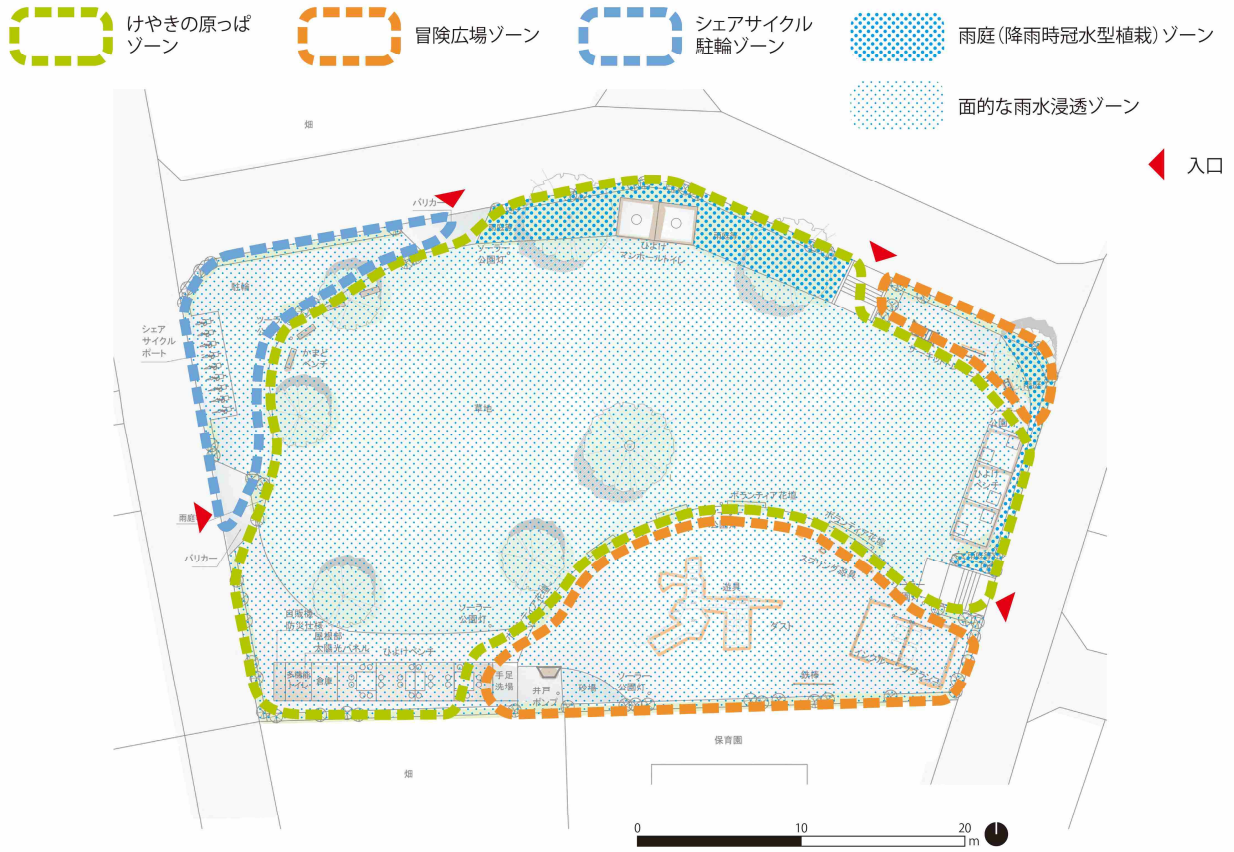
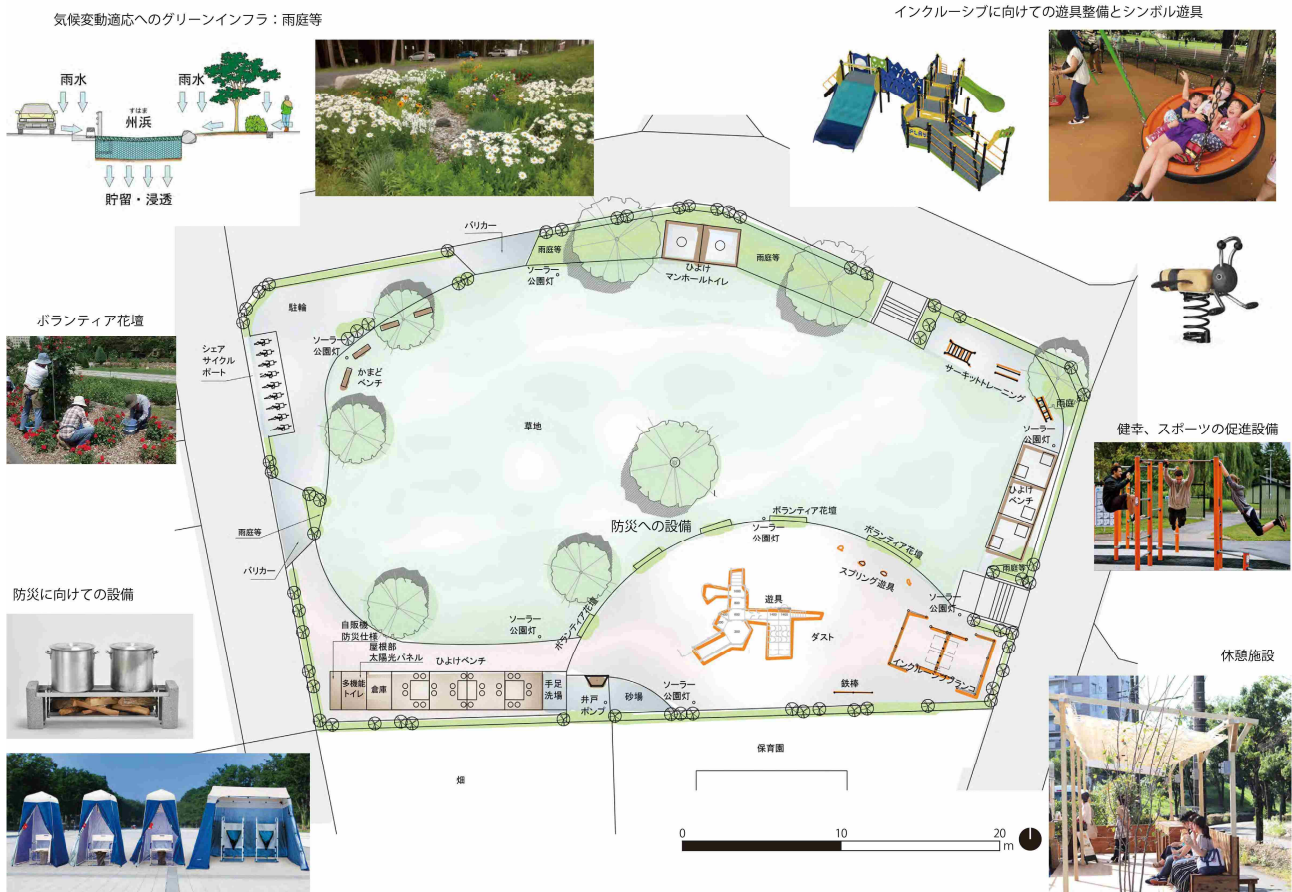


図 T-17 まぼりひがし公園ゾーニング図

3) 基本構想図・導入機能イメージ

整備にあたっては、災害時に強さを発揮する防災機能(雨水浸透、ソーラー照明、災害用トイレなど)や、暑熱対策の日よけベンチ、誰もが楽しめるユニバーサルデザイン遊具など、健康づくりや憩いの場として多面的な価値を有する新しい公園とする。

まぼりひがし公園の基本構想図・導入機能イメージは以下の通り。



4) 鳥瞰構想図・イメージパース

まぼりひがし公園の鳥瞰構想図・イメージパースは以下の通り。

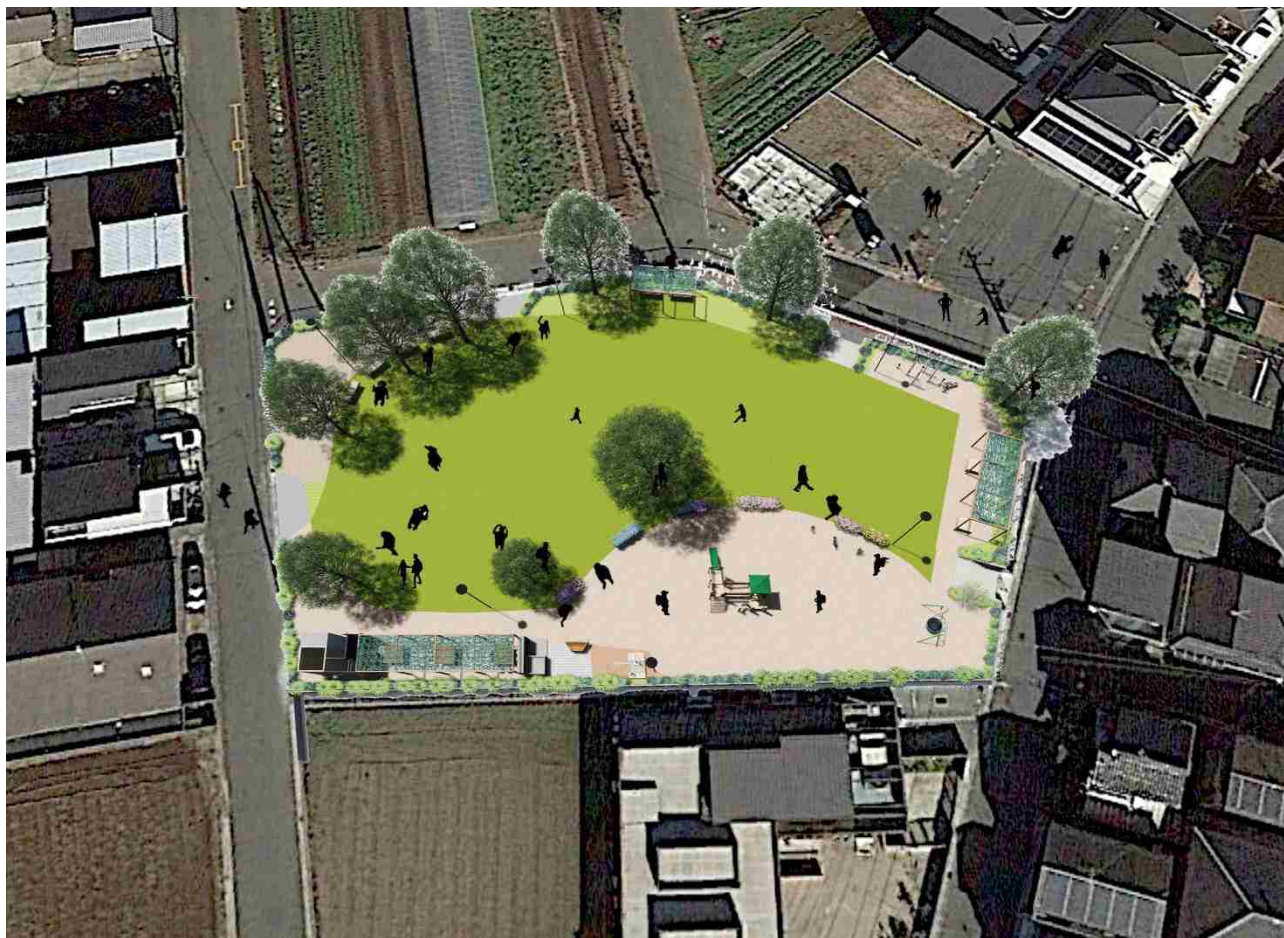


図 19 まぼりひがし公園鳥瞰構想図



広々としたけやきの原っぱ



特色ある幼児用遊具



誰もが楽しめるインクルーシブ遊具



誰もが楽しめる花壇や井戸ポンプ



木陰のベンチ



健康づくりのサーキット・トレーニング



雨水を地下に浸透させる雨庭



災害時に防災施設として転用可能なかまどベンチやテント

図 T-20 まぼりひがし公園イメージパース

2-3 まぼりみなみ公園

2-3-1 位置

まぼりみなみ公園の計画地は、朝霞市の東部にあり、「日常的・広域的なレクリエーションの場の不足」する地域に位置している。

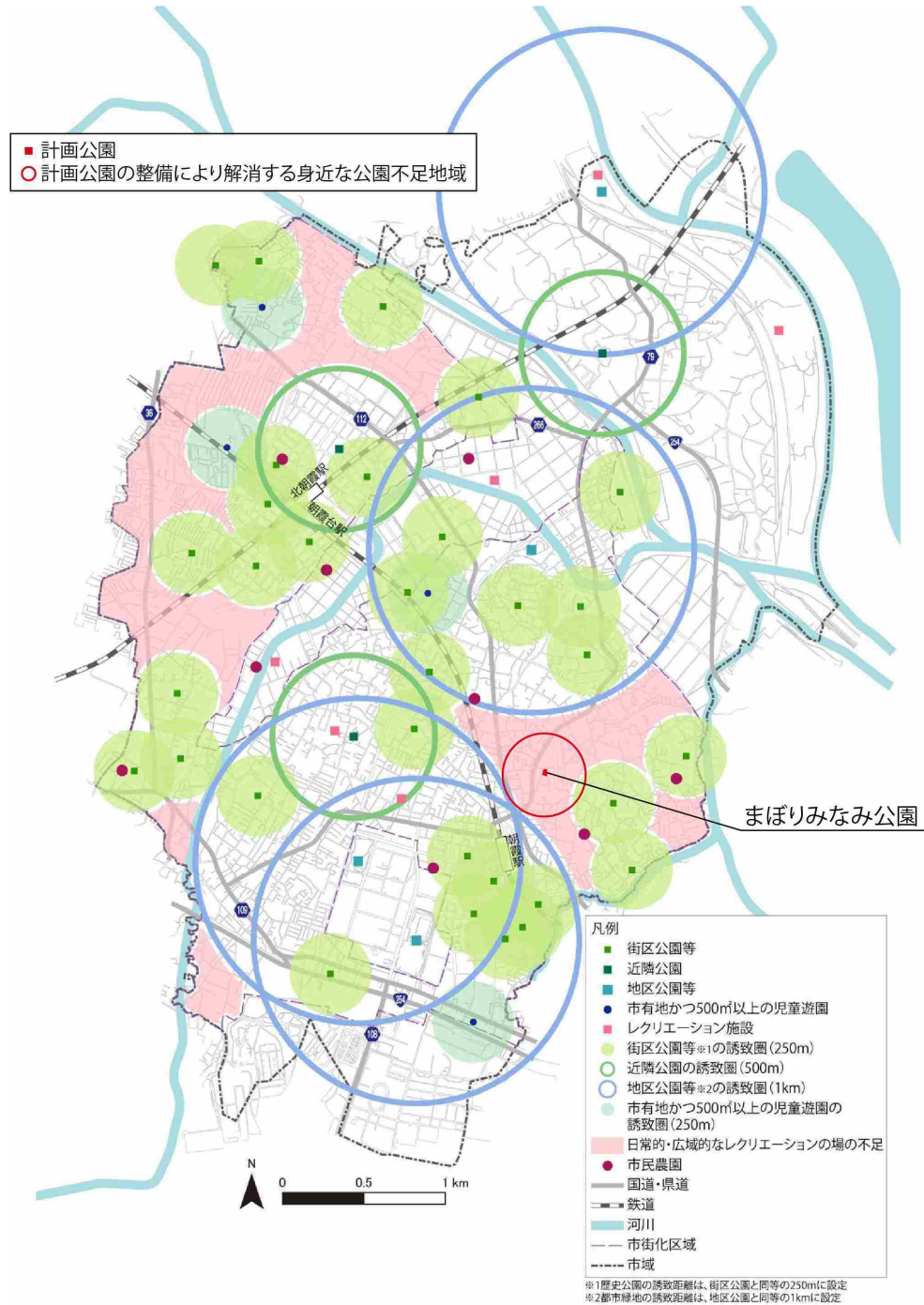


図 T-21 まぼりみなみ公園の位置図

※朝霞市緑の基本計画P31図2-18レクリエーション機能の図にまぼりみなみ公園を加筆

2-3-2 立地条件

まぼりみなみ公園の立地条件の概要は下表の通りである。

表 1-3 立地条件の概要

所在地	朝霞市根岸台5丁目1番1
地 形	段丘面
周辺用途地域	第一種住居地域
ハザードマップ	浸水実績なし・浸水想定なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バス「根岸台一丁目バス停」が最寄りにあり ・ 地域には農地や斜面林が分布するが、宅地化が進んでおり、みどりは減少傾向にある ・ 当該地域は、宅地化によるみどりの減少により環境保全機能や防災機能が後退し、レクリエーション機能が不足していると考えられる



図 1-22 まぼりみなみ公園周辺の地形

※国土地理院基盤地図情報、国交省国土数値情報より作成

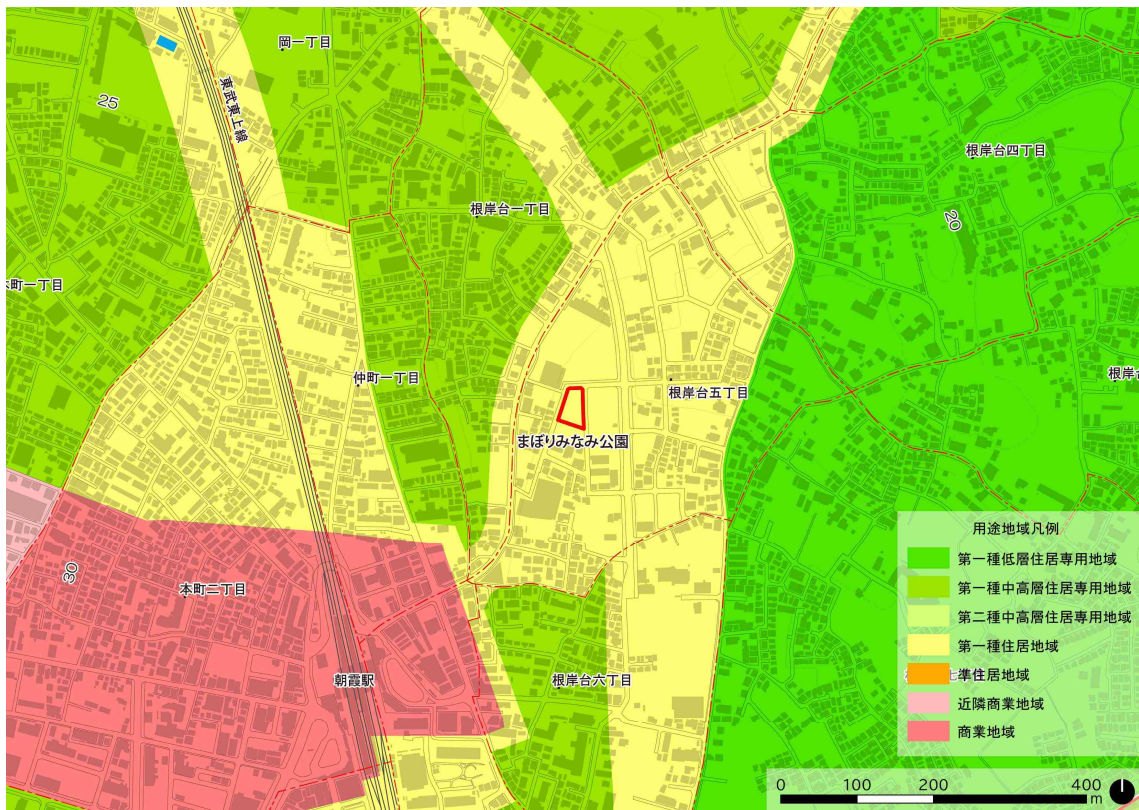


図 T-23 まぼりみなみ公園周辺の用途地域
 ※国土地理院基盤地図情報、国交省国土数値情報より作成

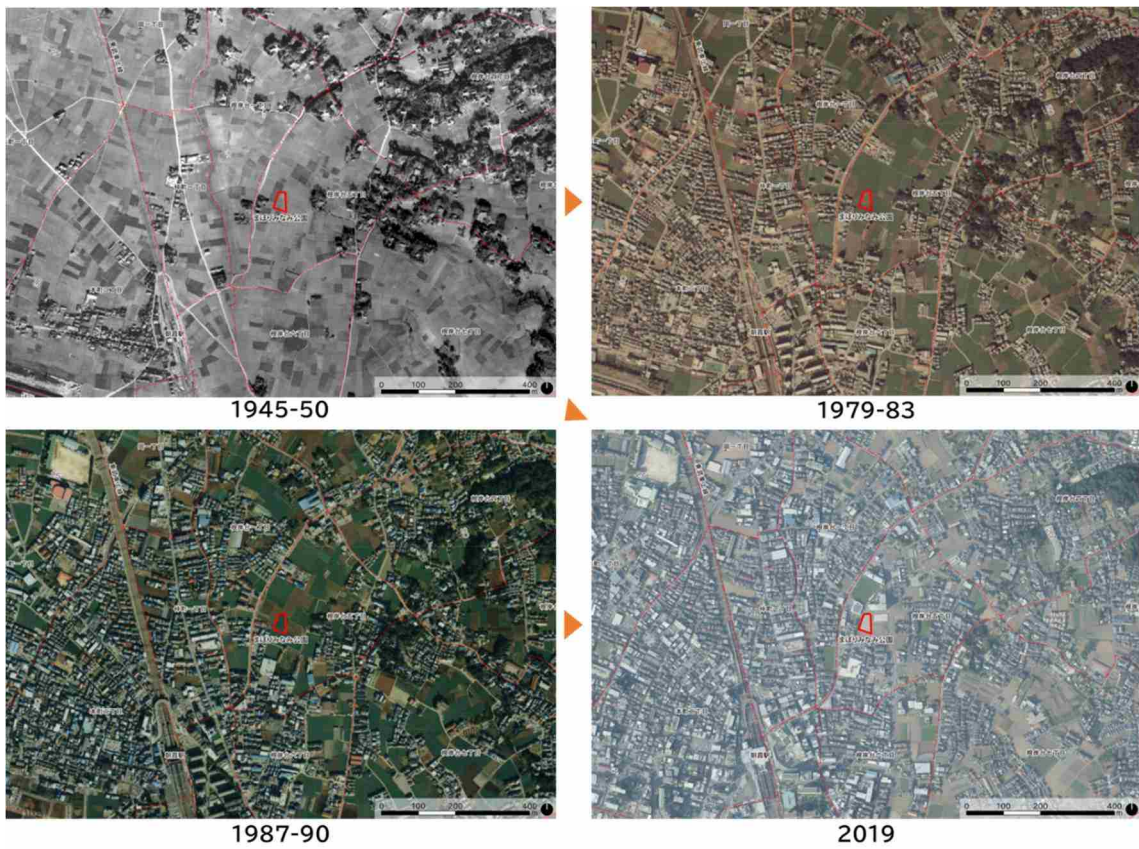


図 T-24 まぼりみなみ公園周辺の環境変遷
 ※国土地理院電子国土より作成

2-3-3 基本構想の検討

1) 方針・整備テーマ

まぼりみなみ公園の整備においては、新設計画公園の基本的な考え方を踏まえるとともに、「不足するレクリエーションの場の解消を図り、子どもからお年寄りまで誰もが利用できる公園」や「静と動・多様な利用を受け止める公園」、「地域の水循環機能の維持」に配慮することが求められる。

まぼりみなみ公園における立地特性に即したテーマを以下の通り設定する。

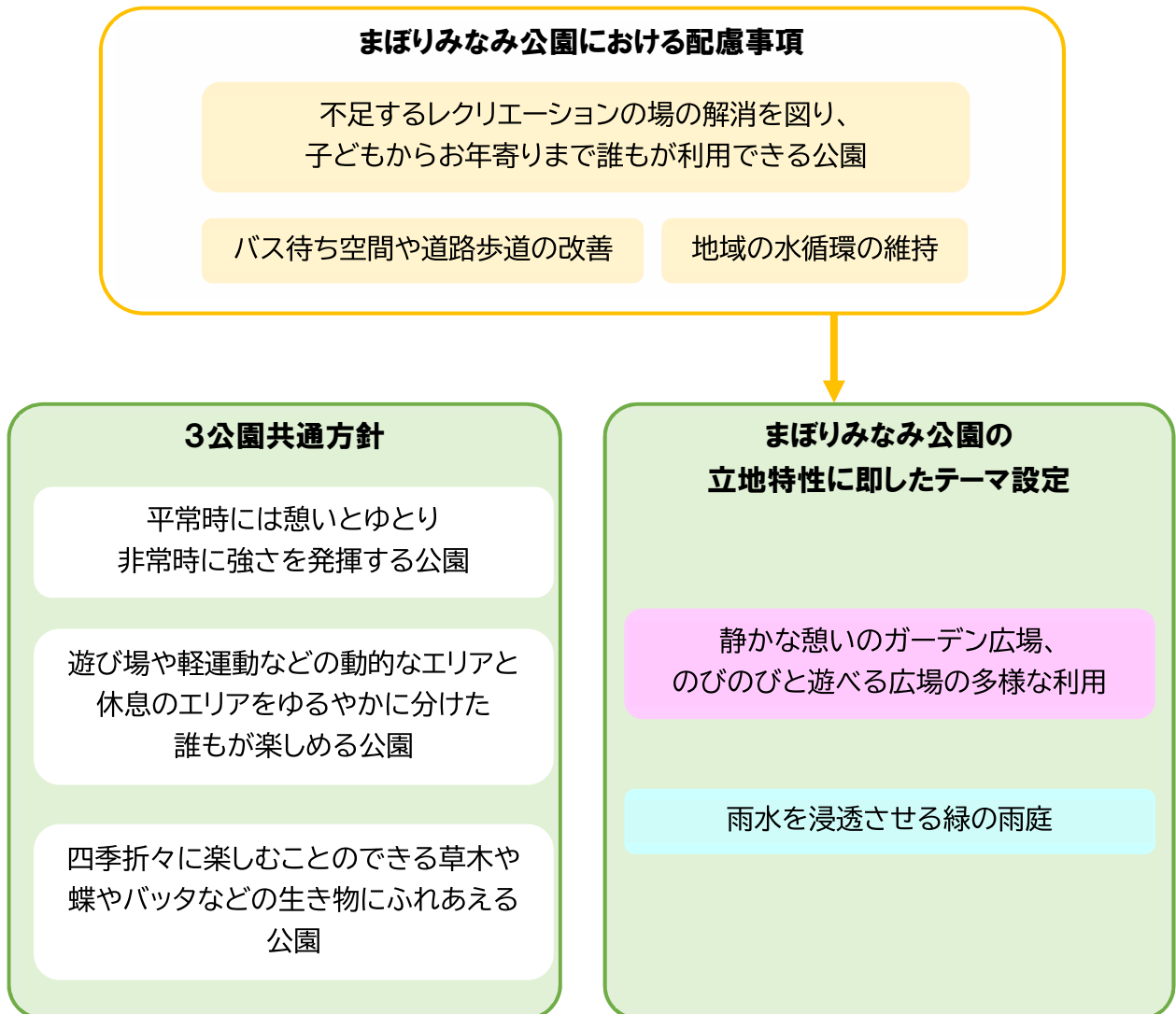


図1-25 まぼりみなみ公園の整備テーマ

2) ゾーニング図

まぼりみなみ公園における整備テーマを展開するゾーンを、以下のゾーニング図に示す。

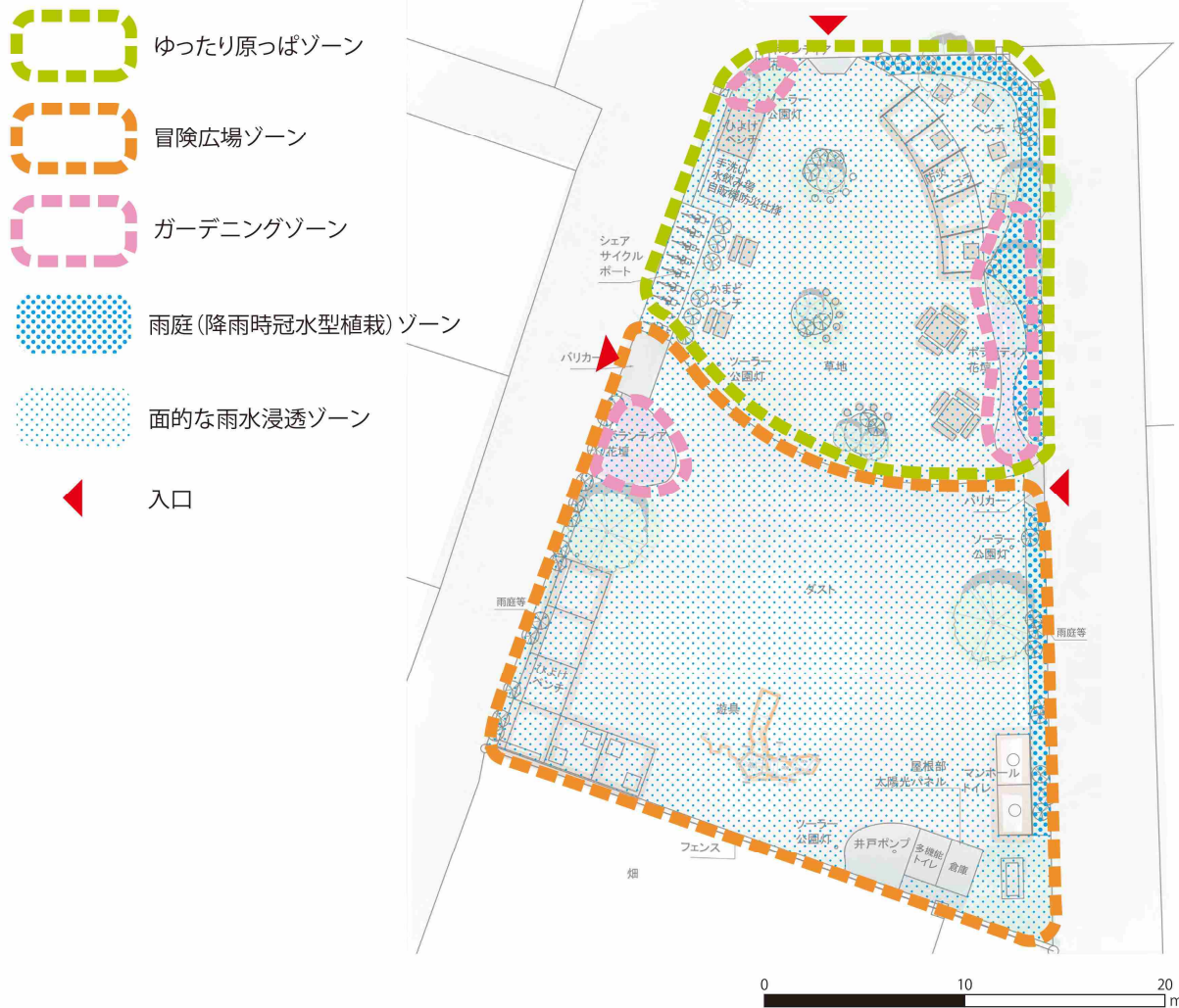


図 T-26 まぼりみなみ公園ゾーニング図

3) 基本構想図・導入機能イメージ

整備にあたっては、災害時に強さを発揮する防災機能(雨水浸透、ソーラー照明、災害用トイレなど)や、暑熱対策の日よけベンチ、誰もが楽しめるユニバーサルデザイン遊具など、健康づくりや憩いの場として多面的な価値を有する新しい公園とする。

まぼりみなみ公園の基本構想図・導入機能イメージは以下の通り。



図1-27 まぼりみなみ公園基本構想図・導入機能イメージ

4) 鳥瞰構想図・イメージパース

まぼりみなみ公園の鳥瞰構想図・イメージパースは以下の通り。



図 T-28 まぼりみなみ公園鳥瞰構想図



災害時に防災施設として転用可能なテントやかまどベンチ



雨水浸透機能をもつ花畑と広場



暑熱対策の日よけベンチ



雨水を地下に浸透させる雨庭



子どもの遊び場

図 T-29 まぼりみなみ公園イメージパース